



# BLUE SKY

～自ら学び 心豊かな子どもに～

第10号

令和 7 年 11 月 26 日 (水)  
コタキナバル日本人会附属  
コタキナバル日本人学校  
TEL 088-422297



文責：校長 渡會 寛之

## KJS空の日開催

11月17日・18日はKJS空の日ということで、JALクアラルンプール支店から5名のスタッフにおいでいただき、スピーチコンテストや、紙飛行機教室、ビーチクリーンアップを行いました。

スピーチコンテストでは子どもたち一人一人が選んだ、空に関する偉人についてスピーチがなされましたが、英語の素晴らしさはもちろん、国語の授業で身に付けた文章構成にも、大変工夫が見られ感心しました。

特に各レベルで優勝した2人のスピーチの内容は、偉人の業績を踏まえながら、最終的には差別といった社会問題や、支えあいと感謝といった内容に話題を展開させていく、大変すばらしいものであったと思います。

翌日行われた紙飛行機教室では、IISSの生徒と交流しながら、楽しく飛距離を競い合いました。JALの方々からアドバイスを受けながらイカ飛行機と呼ばれる紙飛行機を作りましたが、思いのほかよく飛び、最高記録は15m近くの記録が出ました。ちなみに私の飛行機は隣の施設に飛び込みOBでした…。

その後JALの皆さんも交えて行ったビーチクリーンアップでは、普段よりゴミの少ない浜辺に少し驚きながらも、皆で協力してたくさんのごみを拾い、さらにビーチがきれいになりました。ボランティアとして突然参加して下さった方もいて、我々の取組が少しずつ環境の美化に繋がっていることを実感しています。今後も続けていきたいと思っておりますので、保護者の皆様のご理解、ご協力お願いいたします。



## 社会人講話 Sさん来校



11月24日(月)社会人講話として、単独でヨットの旅をしていらっしゃる、杉野さんからお話を伺う機会を得られました。

杉野さんは6年前に日本を出港してから、単独でヨットに乗り込み、主に南太平洋の国々を渡り歩き、この度コタキナバルに寄港されたわけですが、その旅の途中であった様々な体験を子どもたちにお話しくださしました。

毎日が死と隣り合わせの生活でありながら、その体験を生き生きと語る杉野さんの姿に、子どもたちはもちろんその場にいた保護者、職員、全ての者がどんどんお話に引き込まれていきました。中でも、夜中に海賊(杉野さんはコソ泥と言っていましたが)に侵入されてそれを撃退した話や、どこぞの国では平和のシンボルとして崇め奉られ、大統領に招待されたことなど、我々には想像もできないようなことばかりで、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

杉野さんは自分が海に出るのに理由はないとおっしゃっていました。昔有名な登山家のマロリーが「君はなぜ山に登るのか?」と問われたとき、「そこに山があるからだ。」と答えた話は有名ですが、杉野さんもまたそれと似ていて、「そこに海があるから、船を出す」という、自分のしたいことを貫く姿勢に、憧憬を感じずにはられませんでした。

杉野さんは、中学生のころブラジルのサンパウロ日本人学校に在籍していたということで、その頃の体験から、子どもたちには、今海外で学んでいることを親に感謝するようにもおっしゃっていただきました。杉野さんから刺激をたくさんいただいたKJSの児童生徒が今後どのような変貌を遂げていくのか、とても楽しみです。また、杉野さんの今後の航海の無事をお祈り申し上げます。





## 英検合格おめでとう

準2級プラス S● I● (中1)  
準2級 S● N● (中2) M● Y● (中2) F● M● (中1)  
K● R● (小6)  
3級 N● K● (小6) F● S● (小4) \* KJS児童生徒のみ記載



あこがれの職  
業に一步近づ  
けて  
ツイてる！

海がますます  
きれいになっ  
て  
ツイてる！！

